



集中連載 第2回

部活動のいま

「拠点校方式」～学校の垣根を超えて～



合同部活動から拠点校方式へ

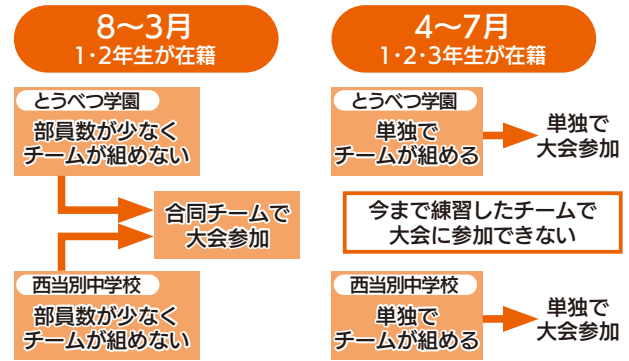
合同部活動による大会参加とその課題

中体連などの大会参加は学校単位が原則ですが、学校単独でチームが組めない場合に限り、複数校による合同チームで大会に参加することは、従来から認められています。当別町でも、野球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部で、当別中学校と西当別中学校による合同チームで大会に参加していました。

しかし、部員数が少ない場合のみ合同チームが成立することから、部員数が多い時は単独で、部員数が少ない時は合同チームで大会に参加することになり、年によってチーム編成が変わる不安定な状況でした。

特に近年では、3年生が引退して1・2年生になる8～3月は合同チームで練習し、新入生が入って各校でチームが組める4～7月は単独チームで練習・大会に参加することが続き、継続的な練習に取り組みづらく、生徒達も不便を強いられていました。

今までは人数で大会参加方法が変わっていた



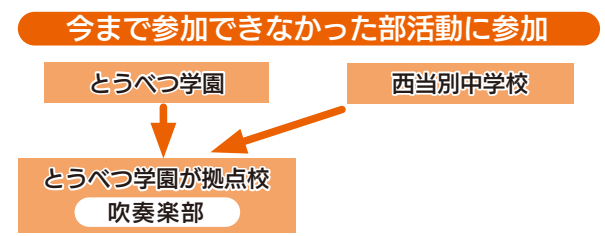
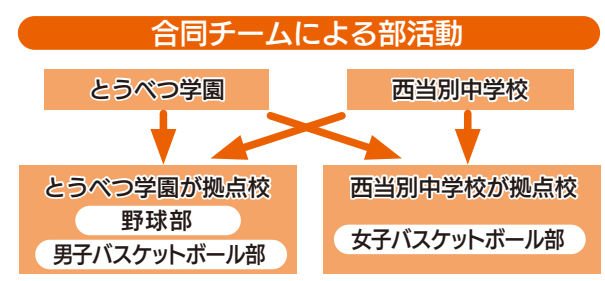
拠点校方式により安定した部活動へ

これらの問題を解決するため、令和4年度よりとうべつ学園と西当別中学校のどちらかを拠点校の部活として定め、もう一方の学校の生徒がその部活に参加する「拠点校方式」による部活動を制度化しました。

これにより、年度によってチームが組めるか不安定な部活動は、年間を通じて合同チームを組めるようになり、先を見越した継続的な練習が可能となりました。

また拠点校方式の制度を活用し、片方の学校にのみ設置されている部活動にもう一方の学校の生徒が参加できるようになったことで、多様なニーズに対応し、生徒に活躍の場を提供できるようになります。

拠点校方式で実施される部活動



拠点校方式の部活動を紹介します

野球部

とうべつ学園を拠点校として、とうべつ学園 11 名、西当別中学校 9 名の生徒が活動しています。平日の練習は両校でそれぞれ行い、休日に合同練習や練習試合を行っています。とうべつ学園のグラウンドが工事中のため、試合などは西当別中学校で行っています。

人数が増えたことで部員間の競争心が芽生えています。休日の合同練習で出た課題を平日で克服するなど練習面でも工夫しています。



みのりの
谷詰実紀依さん
(とうべつ学園 9 年)



おのたかひろ
大野慶太郎さん
(西当別中 3 年)

同級生のチームメイトが増えて、ライバル心からチームのレベルアップにつながっています。土日しか合同練習ができなく連携の練習が不足しているのが課題です。



西当別中学校での練習試合

男子バスケットボール部

とうべつ学園を拠点校として、とうべつ学園 13 名、西当別中学校 5 名の生徒が活動しています。平日は都合が合う時はとうべつ学園で合同練習、休日に合同練習や練習試合を行っています。2 年前から合同で活動を始め、昨年度は新人大会で好成績を残しています。



おさだ
長田和磨さん
(とうべつ学園 9 年)

色々な特徴のある選手と一緒に練習できるので、とても刺激になり、勉強になります。

合同の部活になって新たな友達ことができました。学校の移動に時間がかかるので、練習時間が短くなるのが大変です。



いわたか
及川煌介さん
(西当別中 3 年)

女子バスケットボール部

西当別中学校を拠点校として、とうべつ学園 6 名、西当別中学校 5 名の生徒が活動しています。部員数の減少により 6 年前から合同チームを組んでいて、部員の大半が小学校の少年団から一緒にのメンバーなのも強みです。

人数が多いので 5 対 5 の試合形式の練習ができます。これくらいの人数が、みんなで部活の役割が分担できるので、ちょうど良いです。

交代ができる人数なので、効率よく試合ができます。移動で練習量が少なくなる分は西当中のメンバーがフォローしてくれます。



やまなももこ
山田桃子さん
(西当別中 2 年)



かわはらかのん
川原和音さん
(とうべつ学園 9 年)



西当別中学校での合同練習

吹奏楽部

今年から拠点校方式が始まったことで、とうべつ学園吹奏楽部に新たに西当別中学校から 1 名入部しました。平日は西当別中学校で練習し、休日はとうべつ学園の練習に加わっています。



とうべつ学園での合奏練習